

RAFを導入すれば…

海外子会社が直面しているリスクが分からない

グローバル・ベースで今起こりつつある様々なリスクを、足許のマクロ経済・金融・政治情勢等を踏まえながら、「ステークホルダーの期待からの乖離」という視点に基づき、体系的にフォワードルッキングな形で特定化します。

最適な経営戦略やリスクにどう対応すべきかが分からない

最新のマクロ経済・政治情勢に基づき、経営戦略の弱みに応じた様々なストレスシナリオを作成することで、経営戦略の適否や有事への備え、さらに有事が発生した際の行動を特定化します。

海外投資家から経営の不透明性が指摘された

株主を含む主要なステークホルダーの「期待」を、リスクアペタイトの判断材料とすることで、ステークホルダーの意向に敏感になると同時に、第三者からみて、企業がステークホルダーの期待にどのように応えようとしているのかが明確となります。